

教育部 教育プログラム概要OT

(作業療法士)

	1-2年目	3-4年目	5年目以降	10年目以降	15年目以降
到達目標	○社会人の基本 ○基本業務習得	○基本的なセラピストスキルの習得 ○症例発表能力 ○興味のある専門分野を模索 ○他職種連携の習得	○専門性の習得 ○学会発表能力 ○後輩指導能力 ○メンバーシップの模索 ○新人-上司のパイプ的役割	○特定の科 (医師) と信頼関係を築けるキーマンとなる ○後輩・チームの育成 ○業務管理補助	○業務管理 ○キーマン育成 ○すべての模範となる人材
習得項目	○社会人の基本 ○病院業務 ○就業規則 ○リスク管理 ○リハ科業務 ○セラピスト業務の基本	○各疾患のスキル習得 ○学会発表 (ルーキー発表1回) ○がんリハ講習受講 ○ADL評価・ADL介入・環境調整	○専門分野習得 ○学会発表 ○各種基本領域とADL介入・環境調整の指導ができる	○特定の科 (医師) から信頼される人材となる ○特定疾患の専門性を有する ○特定疾患でリーダー的存在 (キーマン) となる ○専門性を生かし後輩育成できる人材となる ○チームを育成できる人材となる ○多職種との連携を円滑にできる人材となる ○院外活動でも力を発揮できる人材となる	
チーム	A 6か月 + @ B 6か月 + @ D 6か月 + @	チーム適宜相談 C 複数症例の担当	○手外科や肩周辺疾患は窓口固定し、状況に応じて経験重ねる その他は希望と状況に合わせて検討 ○国内留学・外部研修		

* Aチーム 脳血管疾患リハ担当

Bチーム 循環器リハ担当

Cチーム 運動器リハ担当

Dチーム がんリハ担当